

## 青葉通駅前エリアのあり方検討協議会第1回ワーキンググループ 議事概要

**日 時** 令和3年7月9日(金) 14:00～16:00

**会 場** 仙都会館 8階会議室

**配付資料** 次第

資料A 本日の座席表

資料B ワーキンググループ構成員一覧表

資料1 ワーキンググループ(WG)について

資料2 アンケート集計結果(速報版)について

資料3 R2年度交通処理検討結果について 会議出席者限り

資料4 社会実験等について

他都市事例紹介

- ・ウォーカブルなまちづくり～居心地の良い歩きたくなるまちづくりの創出～
- ・バスタプロジェクトについて 会議出席者限り

### ○主な意見等

#### 【意見A】

・事務局から先ほど説明があった通り今日の最終的な目的は様々なステージにいる構成員の知識や認識を共有しよう、共通のものまで高めていこうという場である。ここで何かを決めるというよりはインプットの場としたい。不明な点があればご質問いただく。本格的な検討は次回以降の各ワーキンググループで議論して決めていく。

#### 【意見B】

・今回は、ウォーカブルシティというお題が大きいように思う。様々な理由とまちづくりの観点から車道なくすという切り口だがわたしは説法と思って聞いている。中心部にある駐車場を周辺部に移し、人の流れとか回遊性を高めたいのだろうけど、仙台市はどうやって交通量を調整しながらウォーカブルなまちを作っていくのか。わたしは駐車場の有効活用も大きな切り口になると感じている。ぜひ皆さんとの共通の認識として持ちたいと思っている。本日の配布資料(ウォーカブルなまちづくり～居心地の良い歩きたくなるまちづくりの創出～)27ページにも記載されている大阪 御堂筋は、車の交通量が半分になり、外国人観光客も含めた歩道を歩く人は増えたそうだ。車道を減らして歩道の有効活用ができていた良い事例だと感じた。結果として5年間で地価も上がったらしい。ひとことで「ウォーカブルシティを作ろう」と言うが、成果というか結果が見込まれるなら(反対という)考えを変えようと思ってもらえるのではないだろうか。成功事例をもっと情報共有してほしい。また、そういった仙台市よりも進んだ事例のある都市と、横でつながれる連絡会みたいなものもやってもらえると濃密にいろいろ検討できるように思う。

#### 【意見Bに対する意見】

・各地の事例、細かな資料等は次回以降要望にお応えしたい。各都市との横のつながりにしても可能だ。出来る限りのことはさせていただく。

### 【意見C】

・交通状況の悪化に対し心配があるので広場化には反対だ。コンパクトシティを目指すなら中心部の社会的基盤の能力を強化しなければいけないのに、広場化によって道路の交通能力を減退させるのはコンパクトシティの方針に反すると思う。交通シミュレーションが示されているが、中心部を走行する車を青葉通からはじき出して、本当にこの程度の数値で済むのか。納得できないし、にわかには信じがたい。また想定時間が午前8時のみというのも不安が残る。そしてウォークアブルシティとしての賑わいを、年間、誰が維持管理をし続けるのか。広場を有効活用し続けられる人材は限られる上、少ないと思う。広場を作ったはいいけど活用されない、さびしい空間が広がり、その上交通状況は悪化するということを懸念して、反対。

### 【意見Cに対する意見（仙台市）】

・交通シミュレーション結果は説明内容を時間の都合もあり、かなり省いている。今年度もシミュレーションを行い精査する。なお、午前8時については、交通量が最も多い時間帯についてシミュレーションを行ったものとなっている。

### 【意見Cに対する意見】

・維持管理はエリアマネジメントの団体を中心に組織化し、行っていく事例がある。

### 【意見D】

・仙台駅前の交通や人の流れから言っても単純に広場化は反対だ。もうちょっと違う考え方があってもいいのではないかと思う。反対理由のひとつは、仙台の気候だ。季節が良い時は本当に穏やかで心地よい良い気候だ。だが、残念なことにその期間は短い。仙台は風が吹く。これは調べていただきたい。特に冬は屋外では寒さを感じるだろう。そうすると屋内に居たい気持ちが出てくる。もう少し屋外の状況や気温等を調べたり考えたりしてほしい。

### 【意見E】

・先ほどから当たり前のようにウォークアブル、コンパクトシティって言葉が出ているが、これはどこから出ているのか、仙台市の考えか。理念として揺るぎない言葉なのか。その理念をつくる場だと認識していたが、もうすでにこの言葉に決まっているのか。防災シティも然り。仙台市の意思として発表されていないのではないか。

### 【意見Eに対する意見（仙台市）】

・前回の協議会で基本計画やマスタープランを説明した。こういった場所にしていきたいということは仙台市として示している。将来ビジョンについては、令和3年度は案を作成し、令和4年度には策定したい。ワーキングは将来ビジョンの共有の場と考えている。

### 【意見F】

・比較対象にどうしても博多があると思う。天神ビックバンは14年～25年にかけて古いビルを30棟くらい助成金を使って解体し刷新すると打ち出していた。仙台市はグラフィックデザイン的なものや具体的に「これをしますよ」という構想が博多に比べるとかなり劣る。仙台市

全体の具体的な都市計画の絵がなかなか我々から見えにくい。特に建物に関しては、緑化やカラー、形等具体的な構想をもっと告知してほしい。特にカラーに重きをおいた仙台市としての景観イメージの打ち出しを希望する。

#### 【意見G】

・前回の第1回協議会の翌日、河北新報の記事を見た。そこに「出席者からの反対はなかった」と書かれていた。発言が曖昧だったと思うので、今日改めて言う。仙台駅前へのにぎわい作りには賛成だが、広場化構想には明確に反対だ。仙台駅前という幹線道路の交通機能をつぶしてまでの広場化には、到底賛同できない。本日の交通シミュレーション結果の説明も、青葉通の広場化だけに配慮した数値のように感じて首をかしげてしまった。仙台市は定禅寺通の車線を削減して広場化する構想もあるという話を聞いた。社会実験もやるようだ。仙台市はなぜそんなに道路をつぶして広場化したがるのか？

#### 【意見H】

・示された交通シミュレーション結果は、どうしたら渋滞を発生させずに公共交通を処理できるのかという印象だった。心配だ。渋滞・公共交通のルートの迂回等、交通処理の検討は必要だが、交通事業者にも利活用をさせていただきたい。また、公共交通の利用促進を図ることも我々もそうだし仙台市の役割ではないのか。交通の利便性向上を図る構想を検討材料から除外しないでほしい。また、令和4年度の社会実験に関しても、道路の規制の仕方にもよるが公共交通の利用者に混乱を与えないよう、慎重に検討してほしい。

#### 【意見I】

・今日の位置づけはあくまでインプットの間と考えたい。様々な情報を頭に入れて帰れば良いと思う。わたしはバスタについて聞きたい。交通拠点に求める機能だが、バスタは路線バスを含め基本的には交通機能を持つ事業者をいろいろ盛り込めると考えていいのか。

#### 【意見Iに対する意見】

・その理解で良い。各地域で必要なものを盛り込んでいく。ただ何でもできるわけではないので、機能強化の内容等は各地域によって違う。路線バスを含むのか等今後の議論が必要だ。

#### 【意見J】

・バスタのスケジュール感は？

#### 【意見Jに対する意見】

・未定。まちづくりと密接に関係するので慎重に検討している。